平成２３年度　福井型コミュニティ・スクール推進事業実施報告書

地域と共に育てる和田っ子

福井市和田小学校

１　取り組みの概要

（１）地域や家庭と学校の連携実績

項　　　目	回　数
地域･学校協議会	２　回
中学校区を単位とした協議会	２　回
地域及び家庭への学校公開	２０　回

（２）地域人材の活用（のべ人数）

講師･ゲストティーチャー
１３２　　人
授業ボランティア（含：低ボラ）
１４２　　人
登下校支援ボランティア
１８２６　　人
その他（図書ボランティア　　　　）
２７０　　人

（３）特色ある活動

テーマ「　　心の教育の充実　　」

具体的活動内容

①　地域の名人に助けてもらっての農作物作り

２年生は生活科の学習と食育を兼ねて、ナス、ピーマン、トマト、サツマイモ、ブロッコリー、大根といろいろな野菜を育てて、野菜のパワーについて学習した。地域の方に世話のしかたを教えてもらったり助けてもらったりして収穫した野菜は、給食にも使われ、野菜を好きな児童が増えた。

【大根の種まきを教えてもらう２年生】

３年生は、総合の「お米はかせになろう」の学習で、地域の営農指導員や農業試験場研究員である保護者から米作りやイネについてのお話を聞き、バケツ稲の栽培に取り組んだ。また、地域の方の田んぼで、コンバインでの稲刈りの様子を見せてもらい、かまを使って稲刈りの体験もさせてもらった。米作りは大変な仕事だけど生きがいにしているというお話も聞かせてもらった。

②　保育園児やお年寄りとの交流活動

５年生は総合の学習のテーマとして、自分たちでできるボランティアを取り上げ、地区の保育園やデイホームを訪問した。地域の幼児やお年寄りと、自分たちが企画して練習した歌やゲーム等を一緒に楽しんで、温かい交流の場を共有することができた。校内体育大会では、保育園児を招待していっしょに競技を楽しんだ。

③　地域と連携した多くの命を救う活動

本校ではエコキャップの回収運動を始めて５年を経過している。その間、児童会が児童だけでなく地域の企業・保育園・公民館・諸団体等にも呼びかけて活動の輪を広げてきた。これまでに回収したエコキャップの数は、現在では１９６万個以上になる。今年度は約３４万５６００個集まった。この数は、ポリオワクチン４３２人分になる計算である。

④　中学校区一斉のあいさつ運動強化週間

成和中学校区では、一斉にあいさつ運動強化週間を５月・９月・１月の３回実施した。ＰＴＡや地域･学校協議会委員の方たちも参加してくださり、地域のあいさつの輪が広がった。児童は、登下校の安全を見守ってくださっている方たちに、あいさつで感謝の気持ちを表すことができた。

成果と課題

- 地域と連携した活動がどの学年でも広がり定着化し、学校と地域との距離が縮まっている。学校行事や学校公開時には、多数の参観者があった。
- 地域･学校協議会では、学校教育の充実のために地域でできる支援について建設的な意見をたくさんいただいた。
- 地域の方に、ゲストティチャーやボランティアとしていろいろな活動を支援してもらった。児童はいろいろな人との豊かな体験活動を通して、興味・関心・意欲が高まった。
- 地域の人材を発掘し、地域の教育資源を有効活用できるような体験的な活動を計画的に取り入れていきたい。